



新十津川望郷会

# 会報 第十五号

## 郷里を同じくする者



新十津川望郷会長

高 棒 政 義

ど、同郷の者だけしか感じない悲しさを味わった人はたくさんおられることがあります。

東北地方の地震発生の半年後、

奈良県十津川村に洪水災害が発生し、

未曾有の犠牲者が出来ました。直接被害にあられた方々にお見舞いを申し上げます。

私は、新聞やテレビの報道でしかその内容を知ることができないのですが、まだまだ復興への道筋が見えないところが多く、被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

報道を通して感じたことは、東

北地方に故郷を持つ人達の落胆ぶりの大きさを、さまざまとみせつけられました。自分の脳裏にある街並みが消え去り、友人や隣人を失つたなんともいえない悔しさな

をいただいて順調な経過をいたしております。あと、一年ないし二年で予定の金額に達するものと信じています。後輩育成のためご協力のほどよろしくお願ひいたします。

## 望郷会報第十五号の 発刊にあたり



新十津川町長

植 田 満

十津川村も大きな被害を受け、望郷会の皆様もさぞかし心を痛めることと存じます。未だ行方不明六名と傷跡が癒えることはありませんが、復旧復興への足音は着実に響いております。

町といたしましても、職員三名を二か月間派遣し、微力ながら復旧復興のお手伝いをさせていただきました。また、今年から力強い母村の復興を町民の皆様に見ていただきこうと、町民が母村で宿泊する場合に助成することとし、復興の一助になればと考えております。

望郷会員の皆様からも多額の浄財をご寄付して頂き、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。去る五月十九日、母村で復興大会が盛大に行われ、私も出席してまいりました。木の香りが漂う、真新しい統合中学校の体育館で、村民や関係者ら約二百名が臨席し、復旧復興に向けて強い決意が宣誓されたところです。

秀峰ピンネシリの緑も鮮やかさを増す爽やかな季節を迎えて、望郷会員の皆様には、常日頃から、ふるさと新十津川に深いご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

去年は、三月の東日本大震災をはじめとする大きな地震や、九月の台風十二号豪雨災害など天変地異が多い年がありました。

特に、紀伊半島を中心とした台風十二号の豪雨災害では、母村・

予算ではじめ、会員各位のご協力

報道を通して感じたことは、東北地方に故郷を持つ人達の落胆ぶりの大きさを、さまざまとみせつけられました。自分の脳裏にある街並みが消え去り、友人や隣人を失つたなんともいえない悔しさな

報道を通して感じたことは、東

北地方に故郷を持つ人達の落胆ぶりの大きさを、さまざまとみせつけられました。自分の脳裏にある街並みが消え去り、友人や隣人を失つたなんともいえない悔しさな

ジで開催されました。好天に恵まれ、爽やかなそよ風が吹くなか、約二千名の聴衆が、軽やかな音楽と楽しいトーキーに耳を傾けておりました。本当に素晴らしい、復興に華を添えるコンサートがありました。

余談ですが、コンサート開始直前ステージ裏でさだ氏とお会いすることができ、その際、「ぜひ、新十津川にもお越しください」とお願いしたところです。

さて、本町に目を転じますと、昨年、基幹作物の水稻は、六月の天候不順で作柄が心配されました。七月以降の好天により回復し、平年作を大きく上回ることができました。

こうした米作りの実績が認められ、今年は道内で一番多く水稻作付面積が増えております。このことは、農業者の弛まぬ努力が結実したものと敬意を表するところでございます。

今冬は近年にない豪雪と加えて低温が重なり、農作業に遅れがでることを心配しておりましたが、思いのほか雪解けも順調に進み、若干の影響を受けただけで推移し

れ、爽やかなそよ風が吹くなか、約二千名の聴衆が、軽やかな音楽と楽しいトーキーに耳を傾けておりました。本当に素晴らしい、復興に華を添えるコンサートがありました。

余談ですが、コンサート開始直前ステージ裏でさだ氏とお会いすることができ、その際、「ぜひ、新十津川にもお越しください」とお願いしたところです。

さて、本町に目を転じますと、昨年、基幹作物の水稻は、六月の天候不順で作柄が心配されました。七月以降の好天により回復し、平年作を大きく上回ることができました。

古くから、雪が多いと豊作になるとの言伝えもありますので、昨年に引き続き今年も豊穣の秋を迎えることを心から期待しております。

終わりに会員の皆様のご健勝と新十津川望郷会の益々のご発展をお祈り申し上げご挨拶といたします。

## 町議会の近況



新十津川町議会議長

長谷川 秀樹

さわやかな初夏の風が流れる季節を迎え、新十津川望郷会の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと存じますとともに、日ごろより新十津川町の発展にご支援とご協力を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、非常に大きな災害が数多く発生した年

ております。

ありました。

三月の東日本大震災では、多くの命が奪われ、福島第一原発の事故では、ふるさとを追われ、まだ帰郷することもままならないなど、一年を経過した後も影響を与えています。

母村十津川村では、九月の台風による大雨により甚大な被害を受けており、町議会といたしましても一日も早い復興を祈り、支援を行つたところでございます。

また、本町におきましても、八月、九月と大雨に襲われ、幸いにして大きな災害は発生しなかったものの、その対応に追われたところがありました。

そういった激動の平成二十三年でありましたが、町議会では四回の定例議会と五回の臨時議会を行い、五十二件の議案を審議いたしました。

審議した議案の中には、小学校耐震補強大規模改修工事に関するもの、また、中学生までの医療費等を無料化にするための条例改正などがあり、議会といたしましては、延べ三三九名の町民の方にお越しいただくなど、議会への関心の高さを感じるとともに、議会のあり方について、我々としても感じ入るところが多くございました。

今後は、報告会の中で町民の方から寄せられた議会に対する思いを受け止め、より活発な議会活動を目指すため、一層の議会活動の充実を図つてまいる所存です。

以上、簡単ではございますが、学ぶことができるよう教育環境の

充実や子育てへの支援などについて、慎重に審議を行つてきましたところでございます。

また、昨年一月に施行されまして新十津川町まちづくり基本条例では、町議会の責務として、町民に積極的に情報を提供するとともに、説明責任を果たすよう努めることとされており、議会といたしましても開かれた議会を目指し、昨年十月には、試験的に議会報告会を実施いたしました。

その時の反省点を踏まえながら、今年三月下旬から四月中旬にかけ、全町十一か所で議会報告会を開催し、議会活動の報告と意見交換を行つてきたところです。報告会には、延べ三三九名の町民の方にお越しいただくなど、議会への関心の高さを感じるとともに、議会のあり方について、我々としても感じ入るところが多くございました。

今後は、報告会の中で町民の方から寄せられた議会に対する思いを受け止め、より活発な議会活動を目指すため、一層の議会活動の充実を図つてまいる所存です。

新十津川望郷会の会報の発行に当

たり、町議会の近況を報告させていただきます。

最後になりますが、新十津川望郷会のますますのご発展と会員皆様のご健康を祈念申し上げ、会報発行のご挨拶とさせていただきま

「津川郷友会」として年一回開催。十津川衆には勢いがあり、我々は押されているなあと感じた。

リタイヤ後私はパソコンの勉強と、登山に明け暮れた。山に登り写真を撮り、その記録を自分のホームページで発表する。



## 望郷会 郷友会 徳富会の点と腺

千葉市

(徳富会 お世話係)

松 倉 幹 男

下徳富（花月）生まれの私は、砂川北高（少子化で廃校）を出た

昭和二十九年十八歳で上京し学生となつた。島田薰村長の時。爾来半世紀があつという間に過ぎた。

平成十年東京の会社を六三歳でリタイヤ。その頃郷友会に出てみた。郷友会とは十津川村から北海道へ移住した直後から続く関東に住む十津川出身者の集まりで、後に新十津川出身者も参加「関東十

平成二十二年日本百名山を踏破し、再び郷友会に目を向けたところ新十津川出身者はほんの僅かになつていた。そこで同級生と一級下を誘い、当日参加者と共に「徳富会」を作り、今後頻繁に交流して行く会の世話役を私が引き受けた。

この名称は、ピンネを眺め徳富川で遊んで育つた者達には自然に浮かんだもの。霧島昇の『幼馴染のあの山 この川 ああ 誰か故郷を想わざる』である。

私は望郷会の存在は知らなかつた。会長の高棹政義氏は私の中学時代の恩師で、札幌花月会会长中川芳継君は私の同級生である。昨年徳富会で奈良十津川・熊野古道を訪ねる計画を立てたら、新十津川町役場の仲介で、中井唯夫氏他七人の郷友会の方々と権原神宮で落ち合い一緒する筈が、直前大水

害となり中止したのは誠に残念。

いま徳富会は郷友会名簿から百六十名、私が古い学校の卒業名簿から所在を掴んだ人が百十名、合計二百七十名の暫定会員がいる。

今年は会則を制定して、希望者を登録会員にして進める予定である。徳富会の活動は「Topkai通信」で事前の計画と事後の報告をしている。昨年四～五回の行事では、それぞれ可なりの人が参加して下さいました。出てこられる人はリタイヤ年齢前後に限られる。現役の人は気持があつても実際には中々出来られないのが現実だ。

私はどの会員に対しても、少しお話をすれば全体像が見えてくる。会員同志でも新十津川出身者同志なら少し交流すればお互いの理解の世界が広がり親しみを感じる。つまり点が線となつて繋がつて、どんどん大きくなるのだ。そのお手伝いをすることは少しも苦にならない。災害地へ出かけることだけではなく、これもボランティアの内だと思つてゐる。

## 母村訪問ツアーが中止に

昨年10月に予定していた母村訪問ツアーは、9月の台風12号による豪雨災害で母村が大きな被害を受けたため、中止となりました。なお、十津川村では今年5月19日に、村の再生に弾みをつけようと復興大会を開催しました。村では「みんなが笑顔になれる村づくり」を目指し、10年の復興計画を立てています。

## 新十津川望郷会開町120年記念協賛事業(平成23年度小・中学校図書室整備助成事業報告)

(収入) 寄付金 個人 82名 225,000円  
 会予算 193,000円  
 計 418,000円

(支出) 単位:円

区分	品名	規格	数量	単価	金額	支払日	支払先
中学校	テーブル	ライオンDH-M1890RR	2台	48,960	97,920	7月1日	(株)イースト文具商会
	椅子	ライオンNO493	8脚	11,160	89,280		
	プレート		10枚	200	2,000		
	小計				189,200		
	消費税				9,460		
	計				198,660		
	本	日本の歴史(1~5)	5冊	6,800	34,000		
	引き				-1,020		
	小計				32,980		
	消費税				1,649		
	計				34,629		
	合計				233,289		
小学校	本	百人一首大辞典	1冊	5,000	5,000	7月21日	(株)図書館流通センター
		三省堂例解小学漢字辞典	40冊	2,100	84,000		
		戦国武将大百科(1~3)	3冊	1,650	4,950		
		世界の遺産ほか	12冊	6,800	81,600		
	引き				-5,267		
	小計				170,283		
	消費税				8,514		
	計				178,797		
	ラベル	バーコードラベル	56枚	90	5,040	7月26日	(株)図書館流通センター
	消費税				252		
	計				5,292		
	合計				184,089		
総計					417,378		

## 新十津川望郷会開町120年記念協賛事業(平成24年度小・中学校図書室整備助成事業計画)

(収入)  
 寄付金 200,000円  
 会予算 60,000円  
 合計 260,000円

(支出)

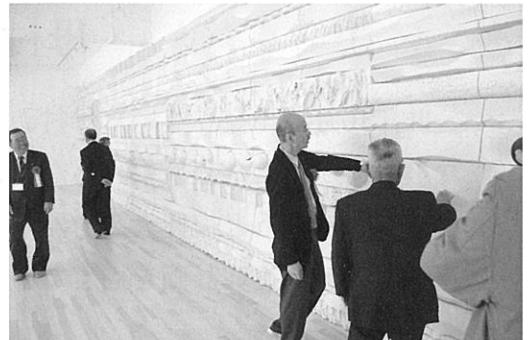
区分	品名	単位	金額
中学校	総合百科事典	12冊	100,000円
小学校	調べ学習用図書	50冊	160,000円

# 新十津川町トピックス

~まちの出来事~

## 平成23年6月2日 彫刻体験交流 促進施設「かぜのび」オープン

旧吉野小学校の校舎を利用して、彫刻体験交流促進施設「かぜのび」がオープンし、彫刻家の五十嵐威暢さんや地域の住民ら34人が参加して、オープンセレモニーが開かれました。職員室跡には、幅20.6メートル、高さ2.9メートルもの巨大な作品が展示され、参加者の注目を集めました。



## 平成23年8月6日 叙勲褒章受章祝賀会

春の叙勲・褒章で瑞宝双光章を受章した萩原輝俊さんと、藍綬褒章を受章した寺島敏さんの栄誉を祝って、知人や親戚など164人の出席のもと、改善センターで叙勲褒章祝賀会が開催されました。

萩原さんは元・警察官。42年間にわたり道民の安心で安全なくらしづくりに貢献した功績が認められました。

また、寺島さんは現職の保護司。27年間にわたって、罪を犯した人や非行のある少年の更生を手助けしてきた功績が認められました。



## 十津川村へ町職員派遣 (9/18~11/17)

昨年9月の台風12号豪雨災害で大きな被害を受けた母村・十津川村。町では、その復旧復興を支援するため町職員3名を2か月間、母村に派遣しました。(写真は、母村を離れる町職員にお礼を述べる更谷村長)

## 平成23年11月

### 新十津川小学校耐震・大規模改修

新十津川小学校の耐震補強と大規模改修工事が完成し、新しくなった校舎で子どもたちは元気に学んでいます。校舎の外壁の色は児童が選び、玄関戸の重い鉄のサッシは、軽いアルミサッシに替り、教室内のカーテンや黒板なども新しくなりました。(事業費は約4億円)



## 平成24年3月4日 雪降ろし初体験

十津川村青年団5名が来町し、災害の際に町民の皆さんからたくさんの支援を受けた恩返しとして公共施設の雪下ろしボランティアを行いました。初めての体験に村青年も思いのほか苦労していました。

## 平成24年4月、5月

### 地酒金滴が金賞受賞

4月5日札幌で開催された新酒鑑評会の純米酒の部で、「北の純米酒」が金賞を受賞しました。また、5月広島県で開催された全国新酒鑑評会で、「大吟醸金滴」が20年ぶりの金賞を受賞しました。



## 会員の皆様へ（お願い）

新規望郷会員のご入会を募るため、会員の皆さんで、小・中学校などの同窓会が開催されるときは、事務局まで、ご連絡をお願い申し上げます。

望郷会新規会員募集のチラシを送付させていただき、新規会員のご入会にご協力をお願いいたします。

## 新十津川望郷会役員

任期期間 平成24年6月20日～平成26年6月19日

(敬称：略)

役職名	氏名	住所	電話番号	備考
顧問	植田 满			町長
	長谷川 秀樹			町議会議長
会長	高棹政義			
副会長	谷口次雄			
	中川昭五			
	増谷俊秀			
	川合正修			
理事	田崎利勝			さっぽろ大和会会长・札幌郷友会会长
	斎内毅			さっぽろ吉野会会长・札幌郷友会副会长
	和平康伸			郷友会中央会会长・札幌郷友会副会长
	杉村修			深川支部支部長
	玉堀光夫			郷友会中央会副会长
	中井唯夫			
	玉置豊			札幌郷友会監査役
	西井勝明			
	中川芳継			札幌花月会会长・札幌郷友会副会长
	松倉幹男			徳富会会长
監事	岡田功			札幌郷友会事務局長
	村上新一			砂川支部支部長
事務局長	佐川純			副町長
事務局次長	熊田義信			教育長
	藤澤敦司			総務課長

※この情報は、個人情報保護の観点から、望郷会活動以外に使用することを禁止します。

新十津川望郷会会報第十五号を発刊するにあたり、役員並びに会員の皆様にはご投稿のご協力を賜り、心からお礼申し上げます。来年の十六号の発行に際しましても多くの皆様のご投稿をお待ちしております。なお、投稿に際しましては、様式等は一切ありませんので、顔写真を同封の上、どしどし事務局へ郵送してください。

編集後記

新十津川望郷会会報 第十五号

平成二十四年六月二十日発行

発行 新十津川望郷会

〒〇七三一一〇三

新十津川町字中央三〇一一番地一

新十津川町役場内

事務局長（新十津川町副町長）

佐川 純

☎〇一二五十七六一二三一  
広小路印刷株式会社